

病態生理学 Pathophysiology

薬：E3-02221MY、生命：E3-02221MS

医療科目 2年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 蒲生 修治(病態生理学研究室)

■教育目的

個々の患者に対し適切な薬物療法を立案する上で不可欠な、疾病の成り立ち、発症機序、症状・所見、経過、検査法などの知識を修得することを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-②、YD-③、YD-⑥、SD-②、SD-③、SD-⑤】

■学習到達目標

1. 主要な疾患の発症原因、発症機序及び経過を説明できる(知識・技能)
2. 主要な疾患の症状や所見、関連する疾患について説明できる(知識・技能)
3. 主要な疾患への適切な対応や治療戦略を根拠に基づいて提案できる(知識・技能)
4. 推定した疾患を診断するための適切な方法を提案できる(知識・技能)

■準備学習(予習・復習)

予習：受講前に教科書および配信資料に目を通し、疑問点を確認しておく(15分)

各回の講義内容に関連する生理学の基本的事項を、1年次に使用した教科書・講義資料によりおさらいする(20分以上)

復習：講義内容について論理を飛躍させずに説明できるようになる(30分以上)

■授業形態

グループワーク、講義

■授業内容

以下に示した各疾患について、1年次に履修した生理学・解剖学の知識に基づき、今後履修する薬理学・薬物治療学の理解に必要な内容を講義する。

適宜 SGD の時間を設け、相互に説明し合うことで説明力を涵養する。

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	病態生理学総論	病理学総論、臨床検査学総論、病因論、症候学、画像診断学	E2(1)~(6)
2	消化器疾患	食道の疾患、胃・十二指腸の疾患、大腸の疾患、肝臓の疾患、胆道・膵臓の疾患	E2(4)-②-1~6
3	循環器疾患①	心不全、高血圧症	E2(3)-①-2,4
4	循環器疾患②	不整脈、虚血性心疾患	E2(3)-①-1,3
5	泌尿器疾患	腎不全、ネフローゼ症候群、排尿障害(前立腺肥大症、過活動・低活動膀胱)、糖尿病腎症、尿路感染症	E2(3)-③-2~6
6	呼吸器疾患	換気障害の分類、気管支喘息、COPD、間質性肺炎、その他の呼吸器系疾患	E2(4)-①-1~3
7	中枢神経系疾患①	統合失調症、うつ病・躁病・双極性障害、神経症、心身症、不眠症、認知症、頭痛	E2(1)-③-4~7
8	中枢神経系疾患②	脳血管疾患(アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症、ラクナ梗塞、脳出血、くも膜下出血)、てんかん、パーキンソン病	E2(1)-③-8~11
9	骨・関節・カルシウム代謝疾患	骨粗鬆症、変形関節症、骨軟化症・くる病	E2(2)-③-2~4
10	眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科疾患	近視・遠視・色覚異常、緑内障、白内障、加齢黄斑変性、めまい、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎瘻など	E2(2)-②-3 E2(6)-①-1~3 E2(6)-②-1,2
11	代謝疾患	糖尿病、メタボリックシンドローム、高尿酸血症	E2(5)-①-1~3
12	血液・造血器疾患	貧血、播種性血管内凝固症候群、血友病、血栓性血小板減少性紫斑病、白血病	E2(3)-②-3~5
13	内分泌疾患	甲状腺疾患、副腎皮質機能亢進症・低下症、尿崩症、高プロラクチン血症	E2(5)-②-2~5
14	自己免疫疾患	全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、ベーチェット病、シェーグレン症候群	E2(2)-②-6~8 E2(2)-③-1
15	生殖器疾患	子宮内膜症、子宮筋腫、前立腺肥大症(重複)、不妊、異常妊娠	E2(3)-③-6~8

■ 授業分担者

蒲生 修治(No.1～4)、若林 朋子(No.5～10)、望月 靖子(No.11～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を随時受付ける。

講義中の確認テストや MY-CAST 上の小テストにより理解度を確認し、解説によりフィードバックを行う。

期末試験の得点(100%)に基づいて総合的に評価する。

■ 教科書

疾病と病態生理 改訂第 4 版(南江堂)

必要に応じてプリント等を配信(配布)する。

■ 参考書

病気がみえるシリーズ(メディックメディア)